

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 29 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 福岡県 大牟田市
新開町一番地

氏名 デンカ株式会社 大牟田工場
執行役員大牟田工場長 笹川 幸男
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0944-52-1063

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 4 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	デンカ株式会社 大牟田工場
事業場の所在地	福岡県 大牟田市 新開町一番地
事業の種類	E. 製造業 (日本標準産業分類の中分類以下を記入(任意):)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日 から 令和5年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	621 t	全処理委託量	621 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	440 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	754 t (令和3年度)
	前年度	937 t (令和4年度)

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)
電子マニフェストを使用中。

※事務処理欄

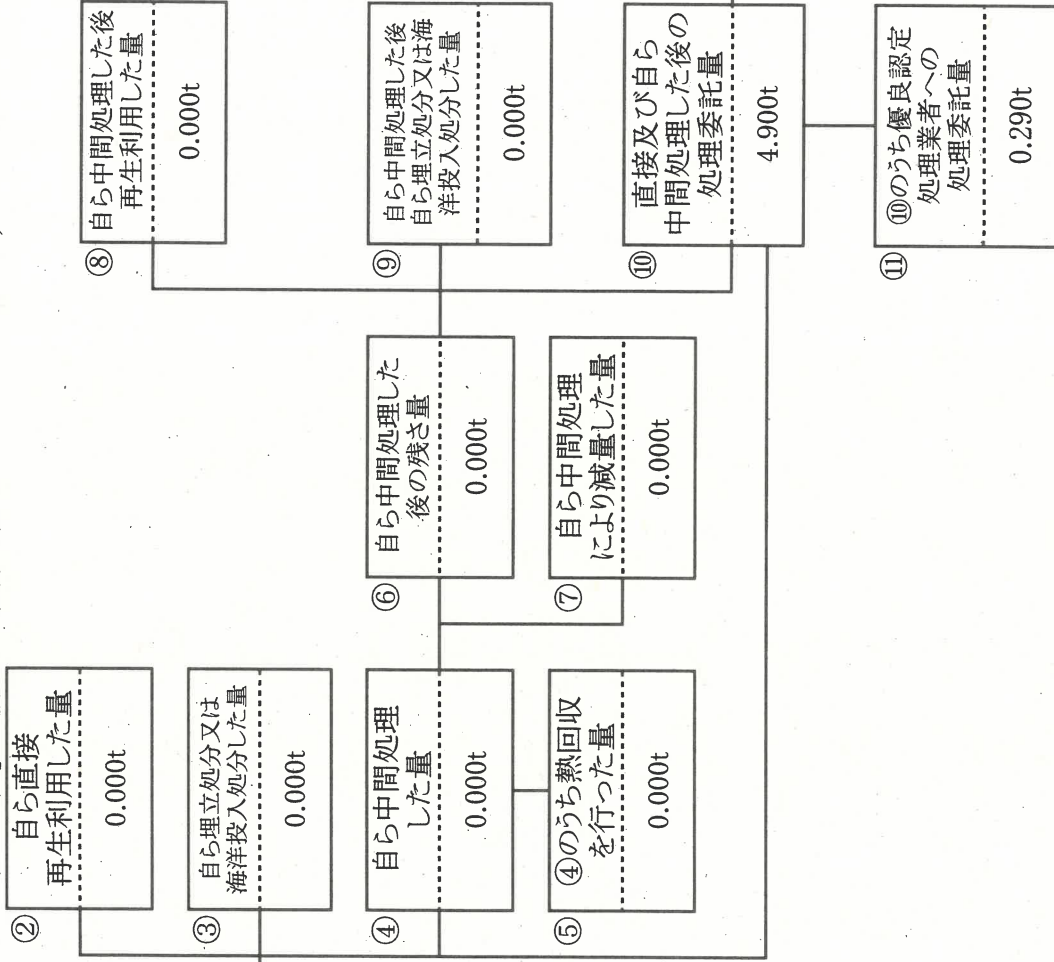


(日本産業規格 A列4番)

(単位：t)

(産業廃棄物の種類： 特管引火性廃油)
 (「その他」を選択した場合は記入：)

計画の実施状況

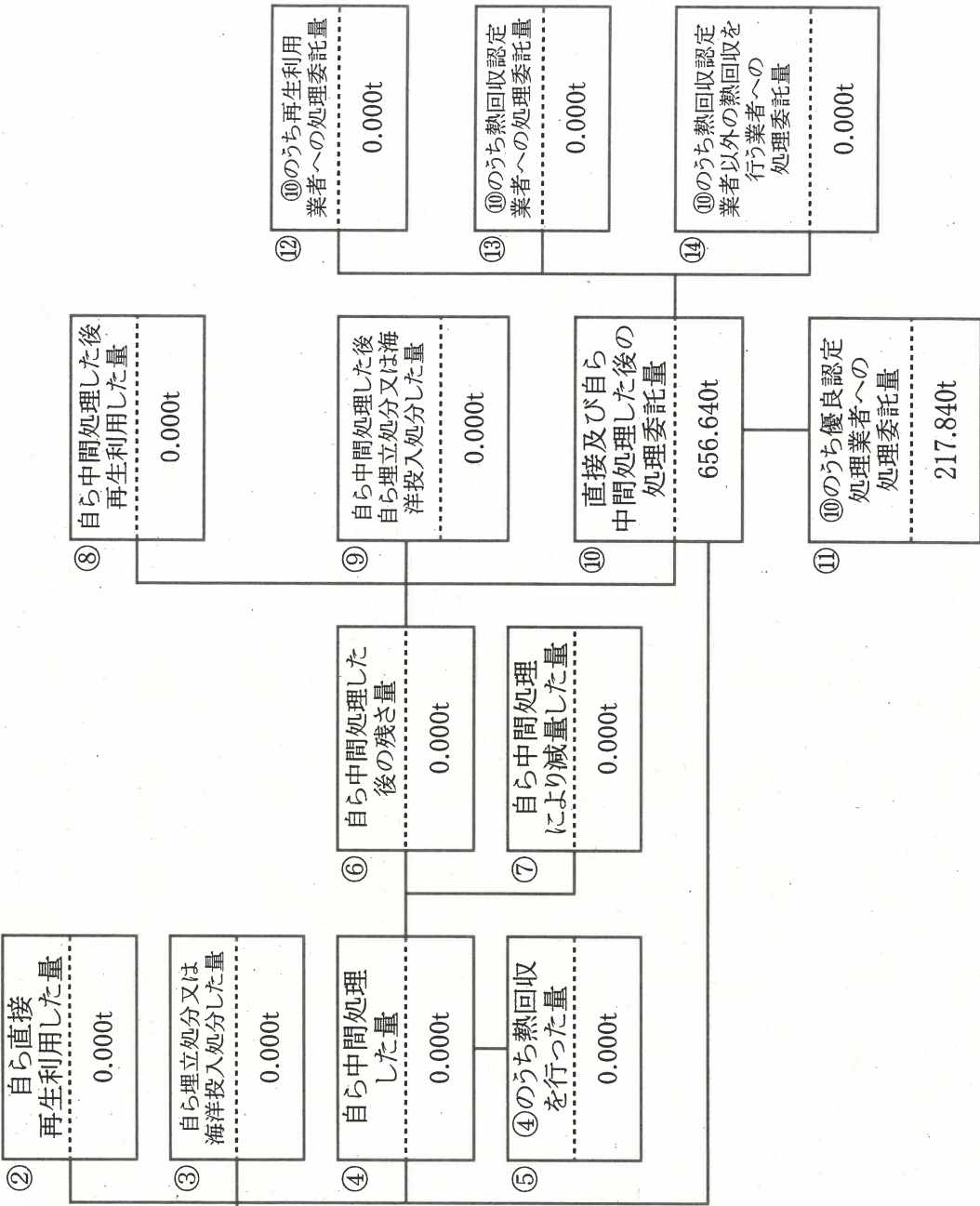


項目	実績値
①排出量	4.900t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	4.900t
⑩の 優良認定処理業者への 処理委託量	0.290t
⑫再生利用業者への 処理委託量	0.000t
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外 の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000t

(単位：t)

(産業廃棄物の種類： 特管廃酸)
 (「その他」を選択した場合は記入：)

計画の実施状況

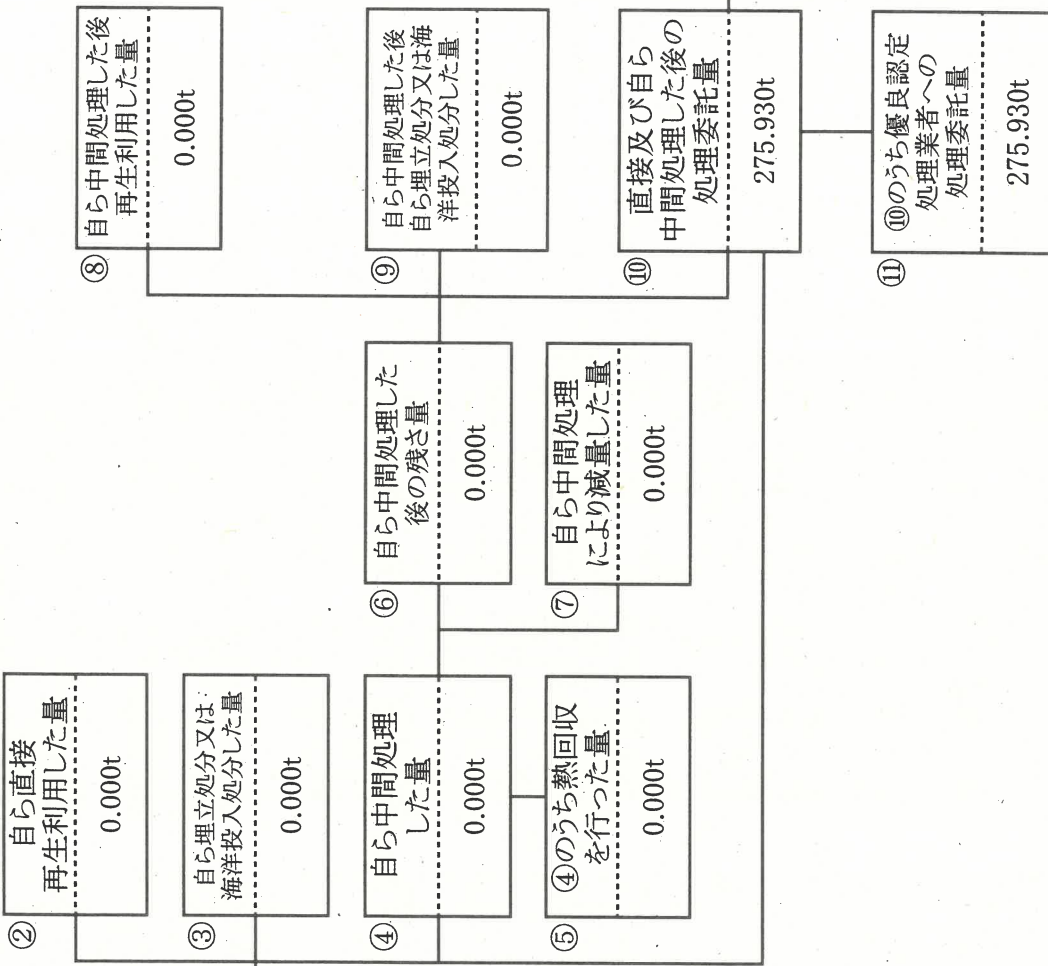


項目	実績値
①排出量	656.640t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	656.640t
⑫優良認定処理業者への処理委託量	217.840t
⑬再生利用業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

(単位：t)

(産業廃棄物の種類： 特管廃アルカリ)
 (“その他”を選択した場合は記入：)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	275.930t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	275.930t
⑩のうち熱回収業者への処理委託量	275.930t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

⑫のうち再生利用業者への処理委託量	0.000t
⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	275.930t
---------------------	----------

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。